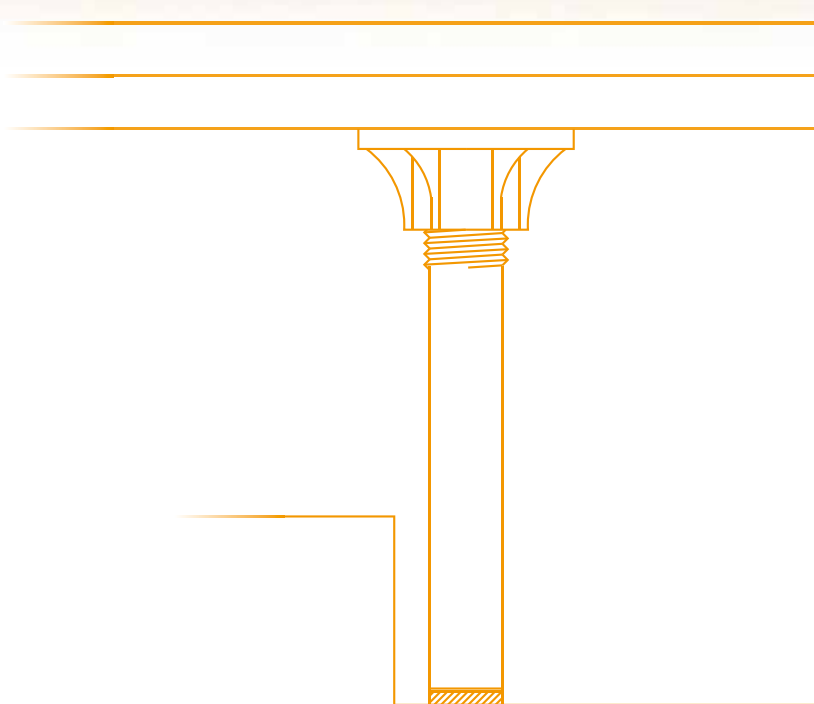
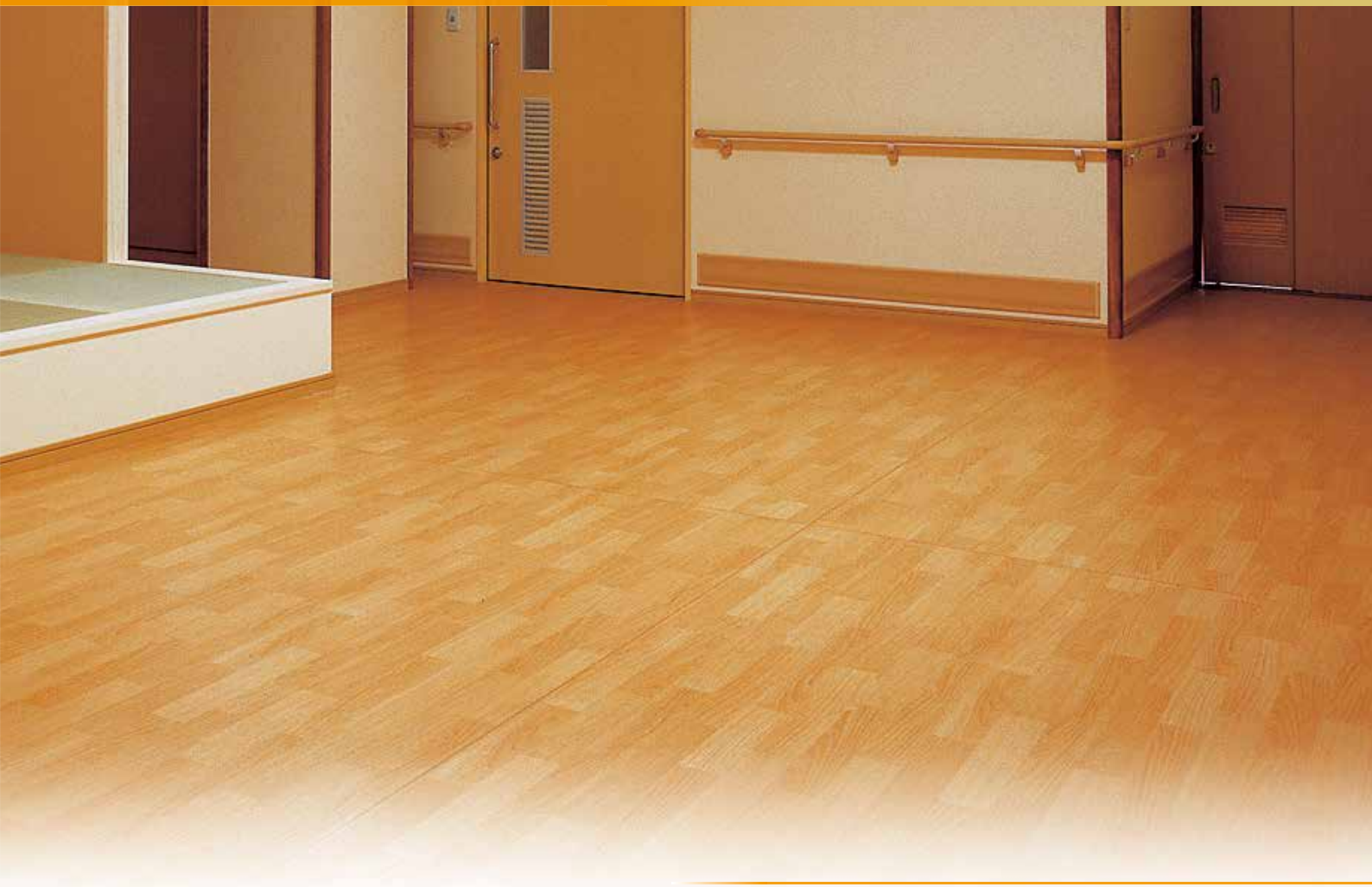


施設関連フローアーシリーズ

高齢者施設・医療施設・文教施設・スポーツ施設 その他

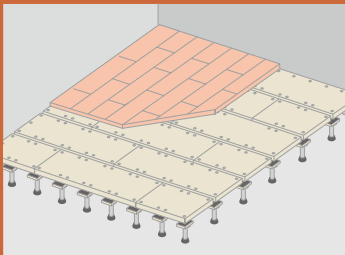


施設関連フローシリーズ

床パネルは全てF☆☆☆☆タイプを使用。

結露しない樹脂製支持脚。

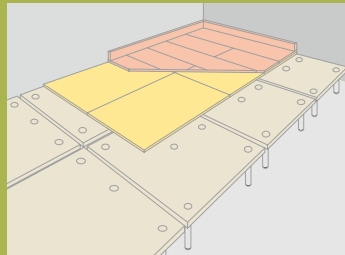
各タイプから用途に応じた最適な床下地が選べます。



汎用タイプ

**フロー
CP-F
MPF
EP-F** (断熱材裏打タイプ)

床高調整範囲が広い
汎用タイプ。



ハイグレードタイプ

**フロー
SDG
シニアスタンダードシステム**

衝撃吸収性、遮音性を兼ね備えた
ハイグレードタイプ。

用途別対応表

厚生施設	高齢者施設	高齢者住宅 高齢者福祉施設など	○	●
	児童福祉施設	保育園 児童館	○	●
	医療施設	一般病院 診療所	○	○
文教施設	教育施設	幼稚園 学校など	○	○
	文化施設	美術館 劇場など	○	○
スポーツ施設		体育館 武道場 スポーツクラブ	△	△
その他		集会場 葬祭場など	○	○
屋外デッキ			—	—



高強度タイプ

קד-717



プラネレン

床パネルに合板を使用した
高強度タイプ。



スポーツフロアタイプ

71-707-



(体育館用) JIS認定



■(体育館低床用)

TR

（柔道場用）JIS認定

TK

(剣道場用) JIS認定

TRK

PK (柔剣道場用) JIS認定

エアロビクスシステム

安全弾性を考慮した スポーツフロアタイプ。



屋外デッキ用

屋外用プラホレン

マルチポスト

屋外デッキ用支持脚。

	スポーツフロアタイプ。		用途別対応表		
○	△	△	高齢者住宅 高齢者福祉施設 など	高齢者施設	厚生施設
○	△	△	保育園 児童館	児童福祉施設	
●	△	△	一診病院 診療所	医療施設	
●	△	△	幼稚園 学校など	教育施設	文教施設
●	△	△	美術館 劇場など	文化施設	
△	●	△	体育館 武道場 スポーツクラブ	スポーツ施設	
●	△	△	集会場 葬祭場など	その他	
—	—	●	屋外デッキ		

●：推奨施工場所 ○：施工対応可能場所 △：施工をお奨めしない場所 ー：使用不可場所

試験データ一覧

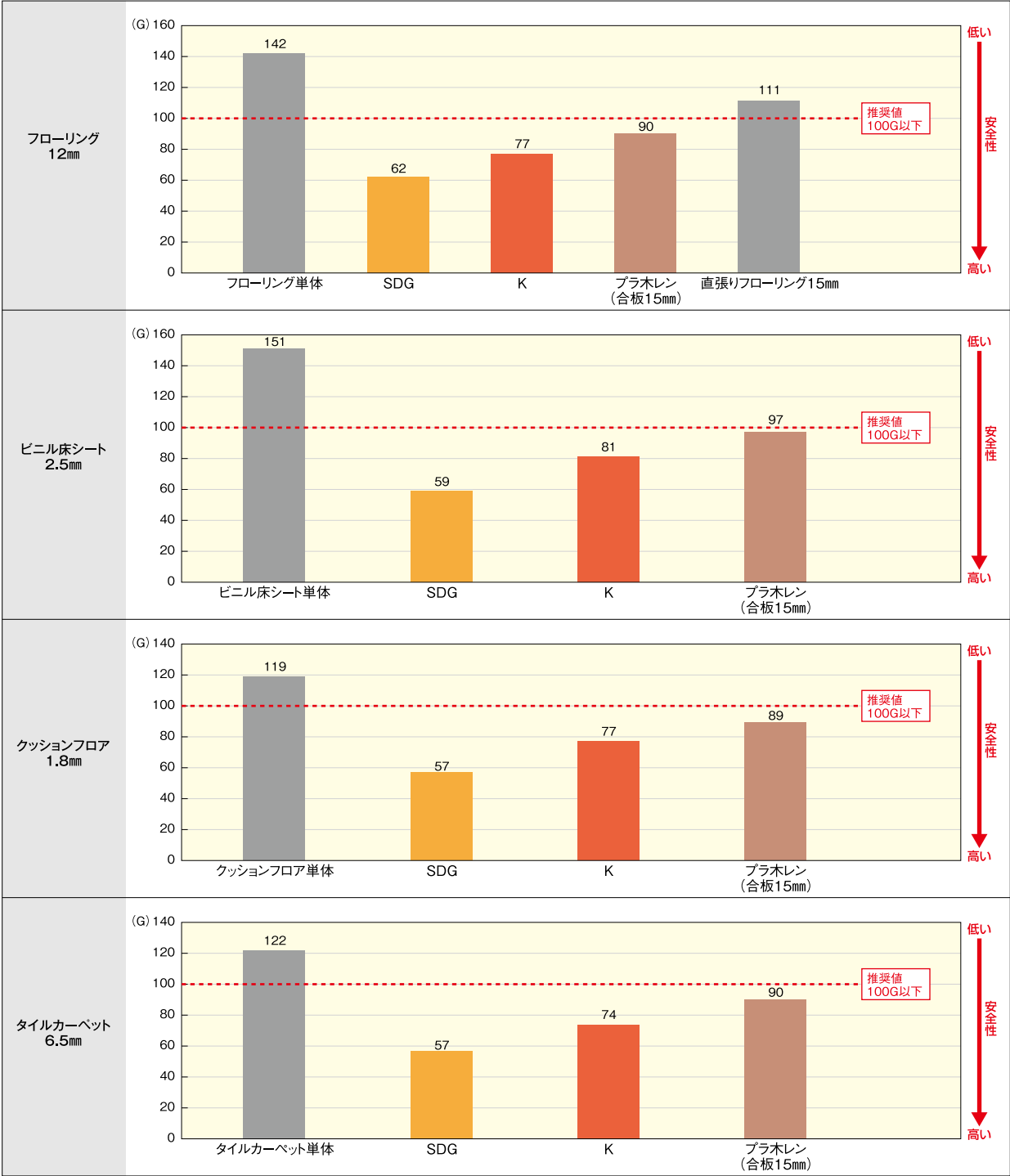
近年、バリアフリーが定着し、段差のない床が当たり前になりました。しかし、フラットな床になっているにもかかわらず、転倒事故は依然として多いのが現実です。フクビでは、床の上を移動する時のあらゆる動作に着目。“ユニバーサルデザイン”の視点で、高齢者にも子供にも、「優しい床」ととことん追求しました。毎日ふれる床だから、もっと心地よく、もっと安全に。その構造も質感も、すべて思いやり仕様です。

安全性

フクビ二重床システムは、適度な弾性により転倒時の衝撃を吸収し、ケガのリスクを低減します。高齢者施設や、幼稚園・保育園・学校などの転倒事故が心配な場所にお奨めです。

■転倒衝突時のかたさ試験
(社内試験、支持脚上データ)

「安全性の確保のために、床には衝撃を吸収する“しなやかなかたさ”を要するが、そのためには最大加速度100G以下が望ましい」とされています。



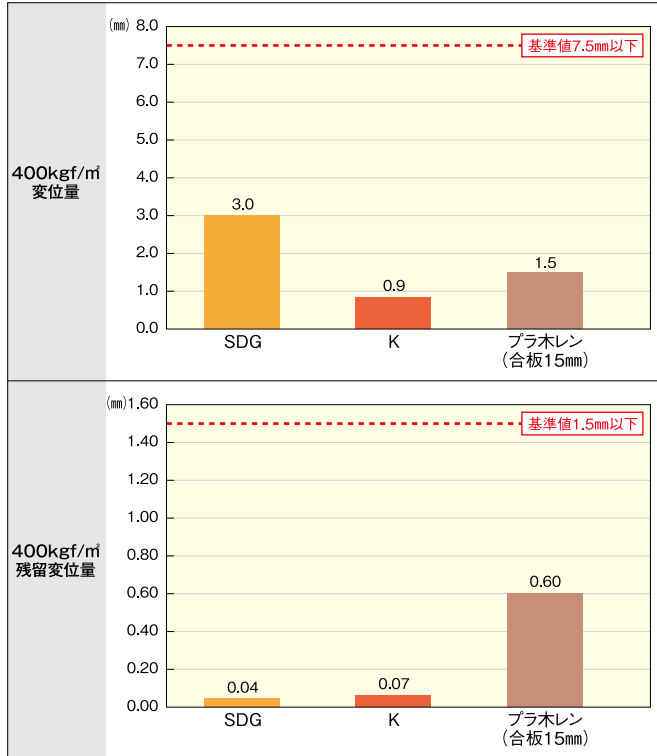
※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

耐荷重性

フクビ二重床システムは、適度な弾性と共に、荷重による「たわみ」を抑えた設計となっており、UR都市再生機構が定める「不特定多数の人が集まる場所におけるたわみの基準値」を満たしています。

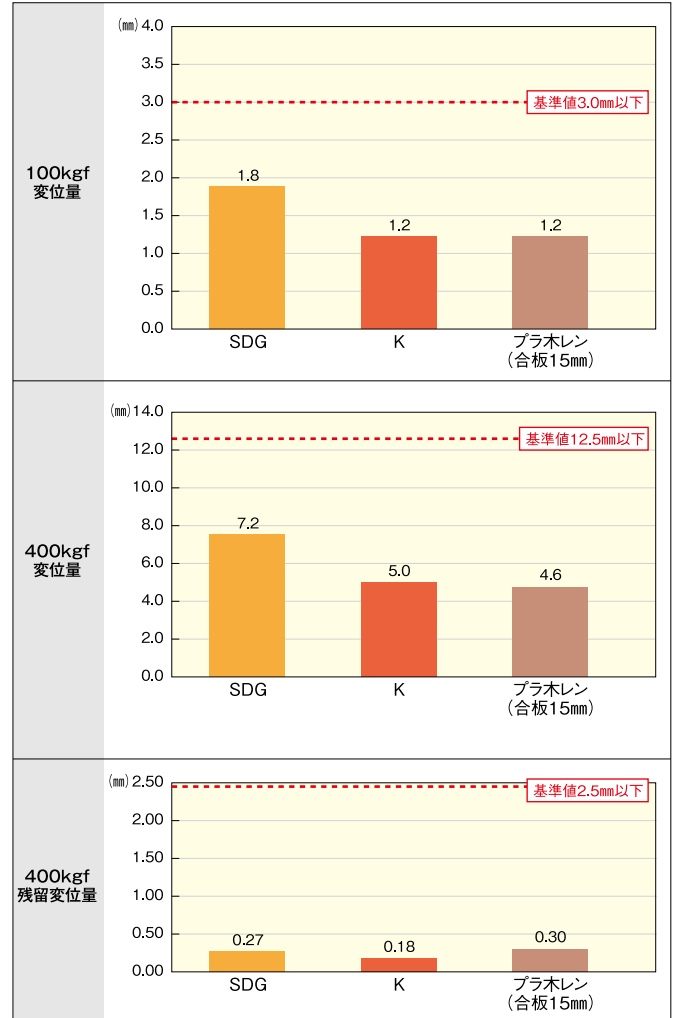
■積載荷重試験

(社内試験、仕上材:木質フローリング12mm、パネル中央部データ)



■局部曲げ荷重試験

(社内試験、仕上材:木質フローリング12mm、パネル中央部データ)



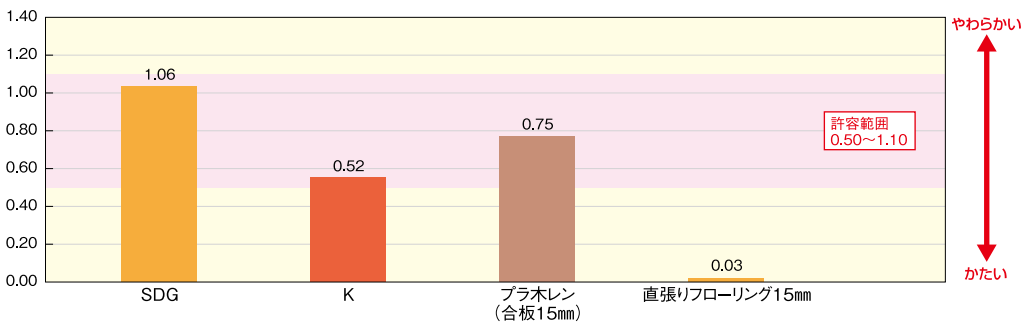
※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

居住性

歩行・変位・正座などの日常動作時に感じる「かたさ」及び長時間動作し続けた場合の「疲労感」の観点から、かたさを数値化し評価したものです。フクビ二重床システムは、居住性にも配慮した設計となっています。

■各種動作時のかたさ試験

(試験機関:床性能研究会、仕上材:木質フローリング12mm、パネル中央部データ)

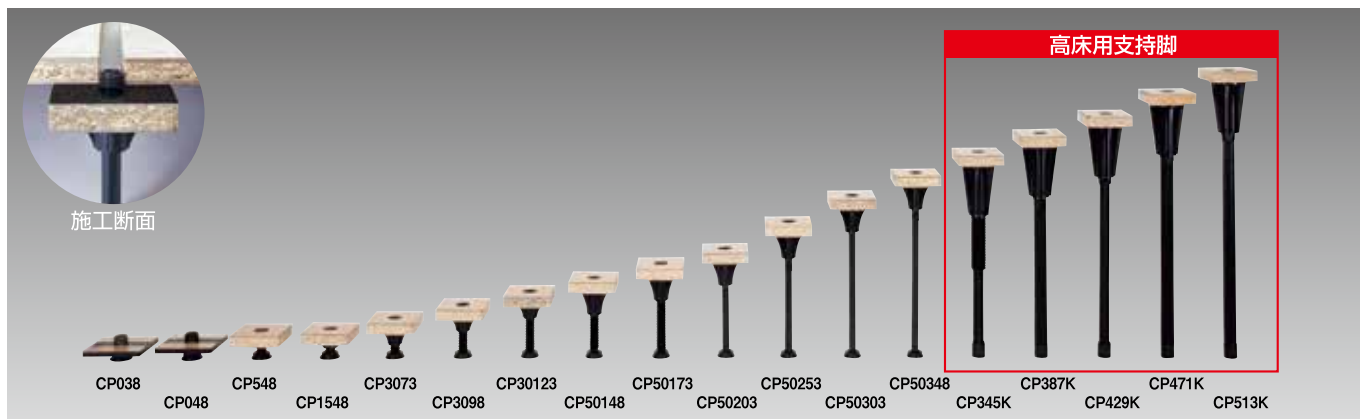


※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

7'1-707-CP-F

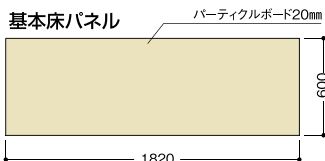
高齢者・医療・文教施設、オールマイティーに使用できる汎用タイプ。

- 画期的な工法により工期を短縮。現場での廃材をほとんど出さないエコロジカルな工法です。
- 配管・配線が自由自在、メンテナンスが可能。



※CP038・CP048はEP(断熱材裏打ちタイプ)には適応していません。

別売副資材

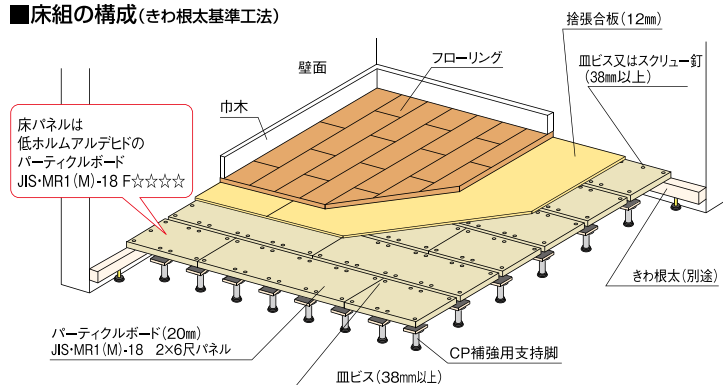


床高調整範囲

パネチ20mm天端までの高さ

38~623mm

床組の構成(きわ根太基準工法)



CP-F 捨張り仕様

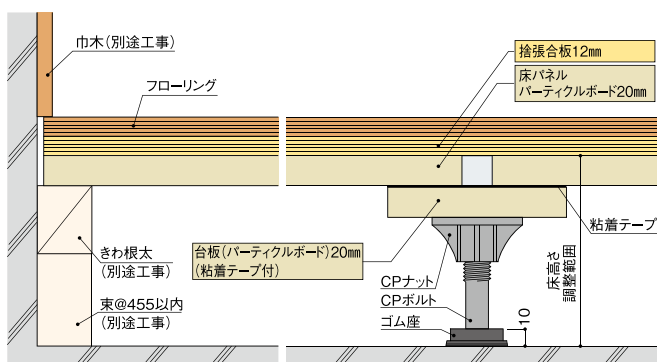
種 類	仕上材		捨張合板厚さ
	厚 さ	巾	
複合フローリング	12mm以上	150mm以上	不要
		150mm未満	12mm
無垢フローリング	12mm未満	—	12mm
直張りフローリング	—	—	12mm
ビニル床シート クッションフロア ビニル床タイル タイルカーペット カーペット	—	—	12mm
畳	—	—	不要
床暖房パネル	—	—	12mm

※上記以外の仕上材については別途ご相談ください。
 ※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル上げの場合、12mm捨張合板の目地が表面に浮き出る恐れがあります。12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。
 ※施設用途以外に使用する場合の捨張合板の厚さについては別途ご相談ください。
 ※二重床に対して仕上げ材メーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

【概算使用数：きわ根太は別途必要です。】

施工工具	支持脚	パーティクルボード20mm厚 JIS-MR1(M)-18 2×6尺パネル
必要数	床先行時 壁先行時	4.5本/㎡ 3.5本/㎡
		1枚/㎡

参考納まり図(フローリング)



CP-F 試験データ

試験項目			測定値	備 考
安全性	衝撃吸収性		75G	支持脚上データ
耐荷重性	積載荷重	400kgf/㎡ 変位量	2.45mm	パネル中央部データ
		400kgf/㎡ 残留変位量	0.03mm	
	局部曲げ荷重	100kgf 変位量	2.11mm	
		400kgf 変位量	7.59mm	
居住性	各種動作時のかたさ	400kgf 残留変位量	0.19mm	パネル中央部データ
			0.76	

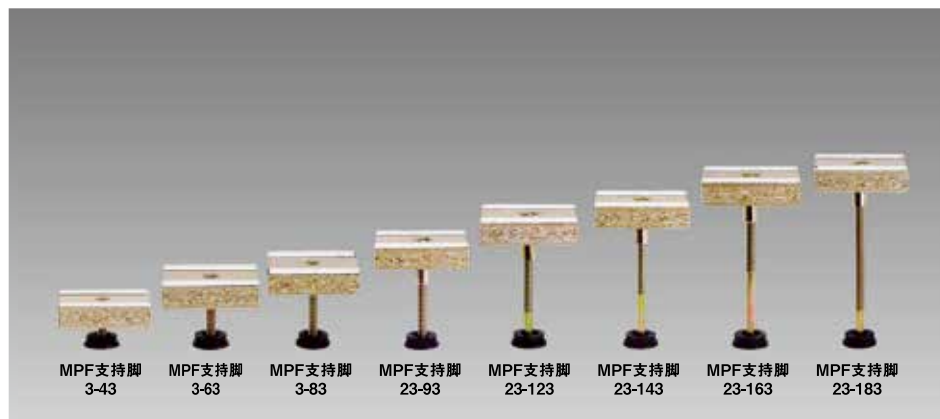
仕上材:複合フローリング12mm

※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

7'11-707-MPF

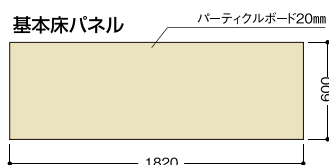
高齢者・医療・文教施設、オールマイティーに使用できる汎用タイプ。

- 画期的な工法により工期を短縮。現場での廃材をほとんど出さないエコロジカルな工法です。
- 配管・配線が自由自在、メンテナンスが可能。
- 低ホルムアルデヒド対応で、シックハウス対策も万全。



別売副資材

基本床パネル

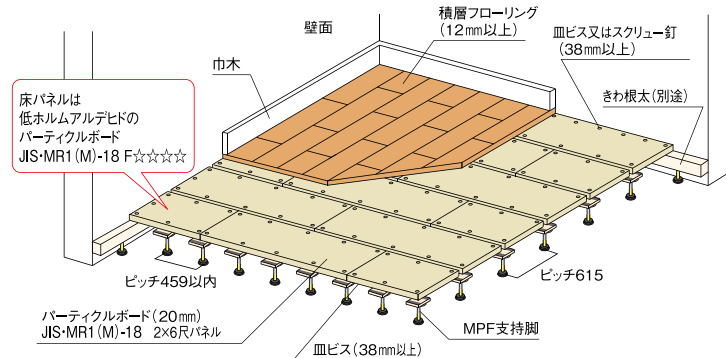


床高調整範囲

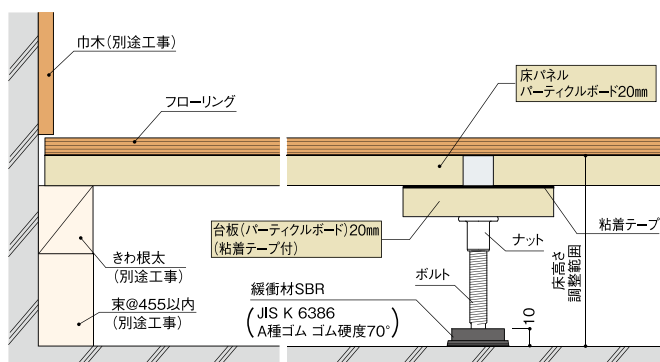
バーチ20mm天端までの高さ

53~1141mm

床組の構成(きわ根太基準工法)



参考納まり図(フローリング)



MPF 捨張り仕様

種 類	仕上材		捨張合板厚さ
	厚 さ	巾	
複合フローリング	12mm以上	150mm以上	不要
	12mm未満	150mm未満	12mm
無垢フローリング	—	—	12mm
直張りフローリング	—	—	12mm
ビニル床シート クッションフロア ビニル床タイル タイルカーペット カーペット	—	—	12mm
畳	—	—	不要
床暖房パネル	—	—	12mm

※上記以外の仕上材については別途ご相談ください。
 ※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル仕上げの場合、12mm捨張合板の目地が表面に浮き出る恐れがあります。12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。
 ※施設用途以外に使用する場合の捨張合板の厚さについては別途ご相談ください。
 ※二重床に対して仕上げ材メーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

MPF 試験データ

試験項目			測定値 (H291mm時)	備 考
耐荷重性	積載荷重	400kgf/㎡ 変位量	1.63mm	測定値は パネル中央部データ
		400kgf/㎡ 残留変位量	0.64mm	
	局部曲げ荷重	100kgf 変位量	1.74mm	
		400kgf 変位量	7.18mm	
		400kgf 残留変位量	0.46mm	

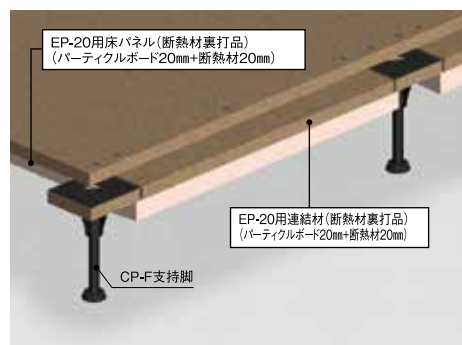
※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

仕上材:複合フローリング12mm

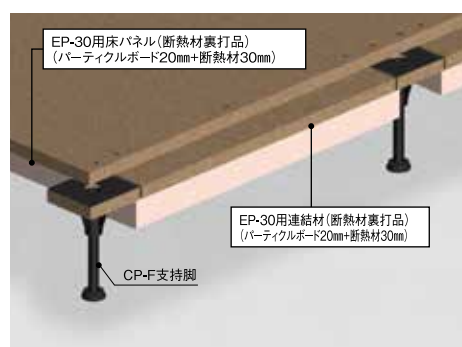
EP-F-EP-F

さまざまな施設に対応した汎用断熱タイプ。

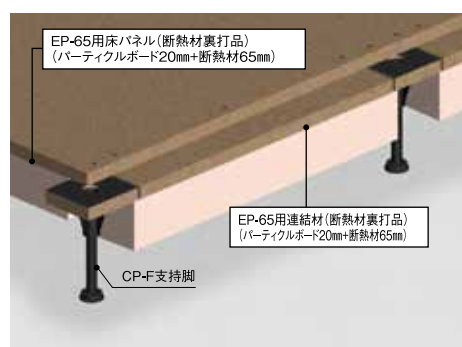
●さまざまな建築物の構造・用途に対応することのできる乾式断熱二重床工法です。



EP-20F
断熱材20mm



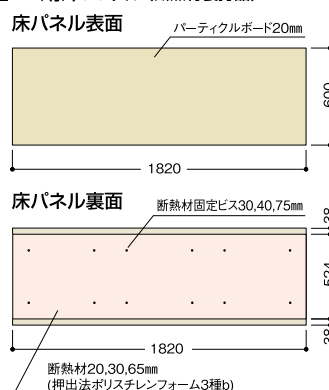
EP-30F
断熱材30mm



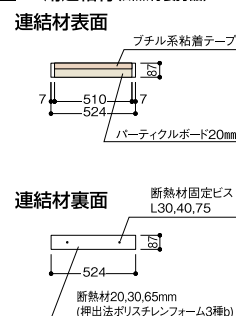
EP-65F
断熱材65mm

床高調整範囲	
パーチ20mm天端までの高さ	
EP-20F	65～623mm
EP-30F	75～623mm
EP-65F	110～623mm

■EP用床パネル(断熱材裏打品)



■EP用連結材(断熱材裏打品)



断熱材の基本特性

A種押出法ポリスチレンフォーム3種b	
熱伝導率	0.028(W/m・K)以下

EP-F 捨張り仕様

仕上材			捨張合板厚さ
種 類	厚 さ	巾	
複合フローリング	12mm以上	150mm以上	不要
	12mm未満	150mm未満	12mm
無垢フローリング	—	—	12mm
直張りフローリング	—	—	12mm
ビニル床シート クッションフロア ビニル床タイル タイルカーペット カーペット	—	—	12mm
畳	—	—	不要
床暖房パネル	—	—	12mm

※上記以外の仕上材については別途ご相談ください。
※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル仕上げの場合、12mm捨張合板の目地に表面に浮き出る恐れがあります。12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。
※施設用途以外に使用する場合の捨張合板の厚さについては別途ご相談ください。
※二重床に対して仕上材メーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

【概算使用数：きわ根太は別途必要です。】

支持脚	床パネル	連結材	施工工具
床先行時： 3.5本/㎡ 壁先行時： 2.5本/㎡	1枚/㎡	3本/㎡	必要本数

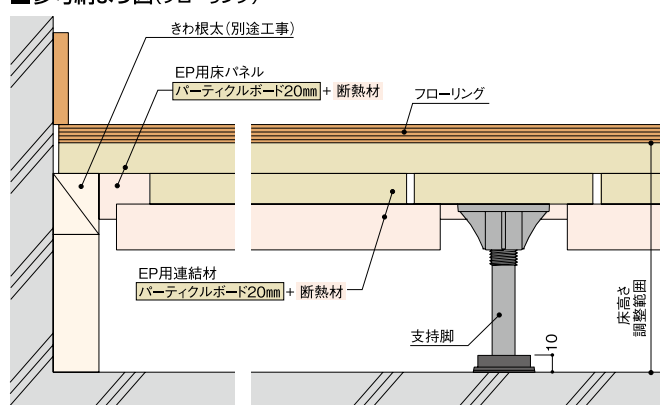
EP-F 試験データ

試験項目			測定値	備 考
安全性	衝撃吸収性		73G	支持脚上データ
	積載荷重		400kgf/㎡ 変位量 2.72mm 400kgf/㎡ 残留変位量 0.10mm	
耐荷重性	局部曲げ荷重	100kgf 変位量	2.15mm	パネル中央部データ
		400kgf 変位量	8.82mm	
	400kgf 残留変位量	0.19mm		
居住性	各種動作時のかたさ		0.82	パネル中央部データ

仕上材:複合フローリング12mm

※上記試験データは測定値であり、保証値ではありません。

■参考納まり図(フローリング)



フリーフロア-SDG / シニアスタンダードシステム

衝撃吸収性、遮音性を兼ね備えたハイグレードタイプ。



床高調整範囲

床パネル天端までの高さ

50～395mm

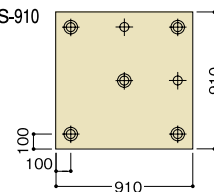
遮音性能(スラブ厚150mm)

LL-40

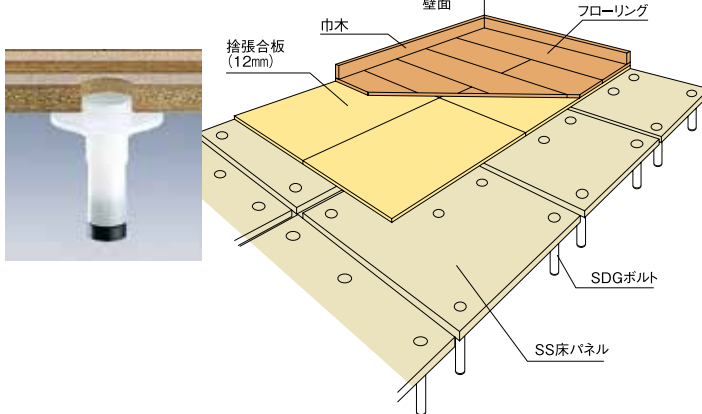
LH-50

■基本床パネル

●SS-910



■床組の構成(テーブル工法)



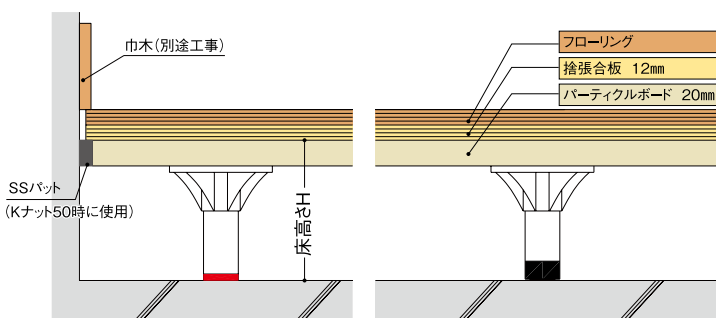
制振シート

厚さ4mm、8mm、12mm×
幅455mm×長さ910mm



■参考納まり図(フローリング)

●壁際部



SDG 捨張り仕様

種 類	仕上材		捨張合板厚さ
	厚 さ	巾	
複合フローリング	12mm以上	150mm以上	12mm
		150mm未満	12mm
	12mm未満	—	12mm
無垢フローリング	—	—	12mm
直張りフローリング	—	—	12mm
ビニル床シート クッションフロア ビニル床タイル タイルカーペット カーペット	—	—	12mm
畳	—	—	12mm
床暖房パネル	—	—	12mm

※上記以外の仕上材については別途ご相談ください。

※捨張に針葉樹合板は使用しないでください。

※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル仕上げの場合、12mm捨張合板の目地が表面に浮き出る恐れがあります。12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。

※施設用途以外に使用する場合は捨張合板の厚さについては別途ご相談ください。

※二重床に対して仕上げ材メーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

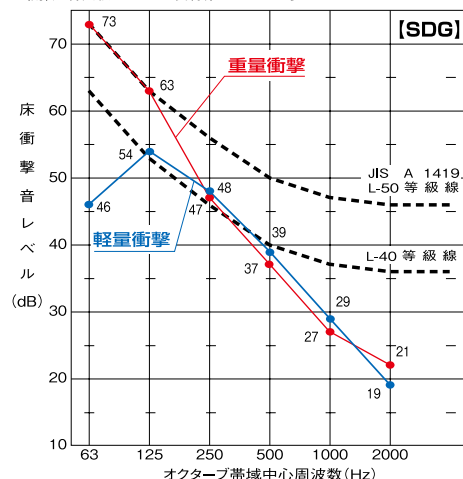
■遮音性能(床衝撃音レベル推定値)

フリーフロア-SDG(スラブ厚150mm)

(財)建材試験センター 受付第10A2357号

軽 LL-40

重 LH-50



※遮音性能は特定条件下での推定値であり、保証値ではありません。

フーフロア^{エフ} プラホレン[®]

配管・配線の多い水廻りや小部屋などに効果を上げる点支持タイプ。

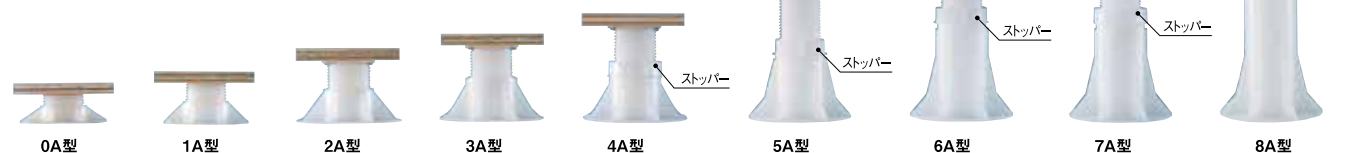
- コンクリートスラブに直接接着剤で固定し、その上に床パネルを張っていく工法です。
- 洗面所など水廻りの小部屋から、配管・配線の多い台所など、あらゆる局面で優位性を発揮します。
- 強度が必要な部位にも最適です。



床高調整範囲

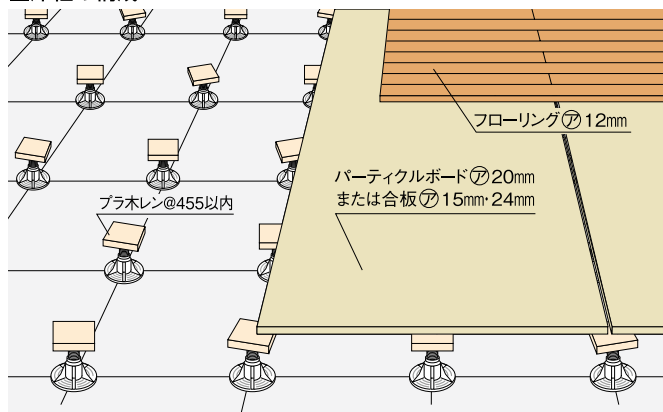
プラホレン釘止め台板天端までの高さ

31~275mm



※ストッパーは必ずストッパー締め治具を使用してしっかりと締め付けてください。

■床組の構成

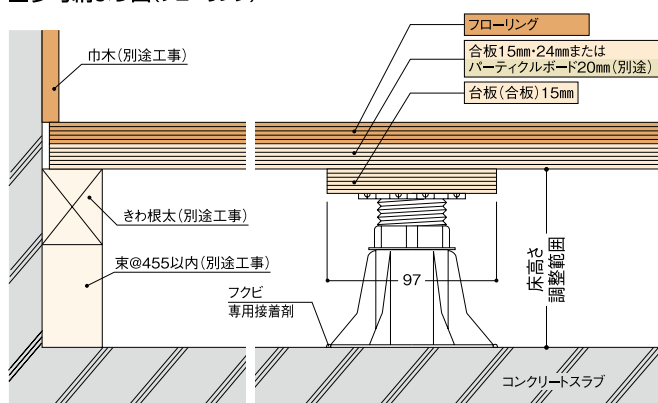


ブラホレン 捨張り仕様

種 類	仕 上 材	厚 さ	巾	捨張合板厚さ	
				床パネルバネチ20mm時	床パネル合板15mm・24mm時
複合フローリング	12mm以上	150mm以上	不要	不要	不要
		150mm未満	5.5mm以上	5.5mm以上	5.5mm以上
無垢フローリング	12mm未満	—	5.5mm以上	5.5mm以上	5.5mm以上
直張りフローリング	—	—	12mm	不要	不要
ビニル床シート クッションフロア ビニル床タイル タイルカーペット カーペット	—	—	5.5mm以上	5.5mm以上	5.5mm以上
畳	—	—	12mm	12mm	12mm
床暖房パネル	—	—	不要	不要	不要
			12mm	不要	不要

※上記以外の仕上材については別途ご相談ください。
 ※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル仕上の場合、12mm捨張合板の目地が表面に浮き出る恐れがあります。
 12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。
 ※施設用途以外に使用する場合の捨張合板の厚さについては別途ご相談ください。
 ※二重床に対して仕上材メーカー施工要領書に記載がある場合はそちらを優先してください。

■参考納まり図(フローリング)



■別売部材 プラホレン専用接着剤

SDS

ホルムアルデヒド発散抑制
F★★★★

呼 称	規 格	接着可能本数
フクビ	1.5kg	約23本
スーパーUダインN	3kg	約46本
(一液型ウレタン樹脂系)	5kg	約77本

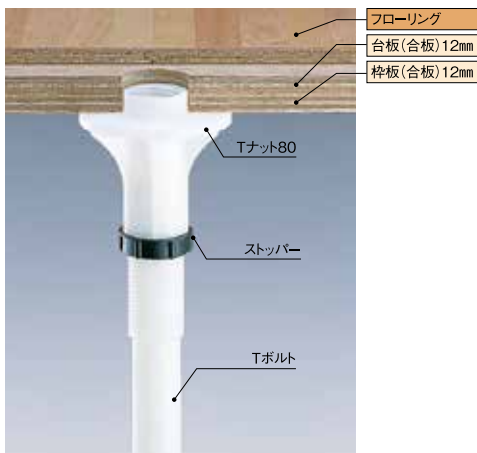
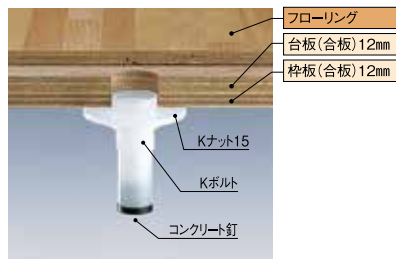
※プラホレン1個当たりの塗布量は60~70gです。使用温度は5℃以上でご使用ください。
 それ以下になりますと硬化が遅くなりますので充分養生して硬化を確認してください。



フリーフローアー-K

コンクリート釘でスラブと一体化する高強度タイプ。床パネルは湿気に強い合板製。

- コンクリート釘でスラブと一体化、強固な床に仕上がります。
- 床パネルの台板と枠板は12mm合板を使用し、支持脚(ボルト、ナット)の嵌合も振動によるゆるみのない特殊設計で、施工後もグラつきによる床鳴りの心配がありません。

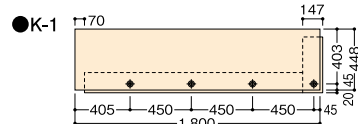


床高調整範囲

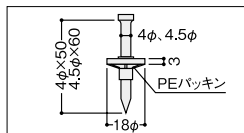
パネル合板天端までの高さ

44~621mm

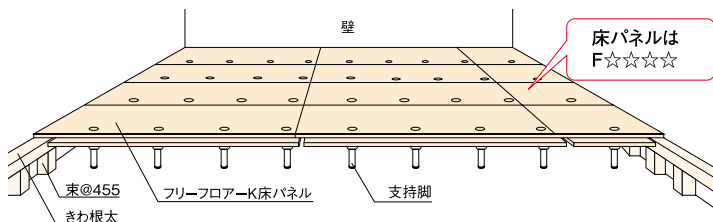
基本床パネル



フリーフローアー専用コンクリート釘



床組の構成(きわ根太工法)

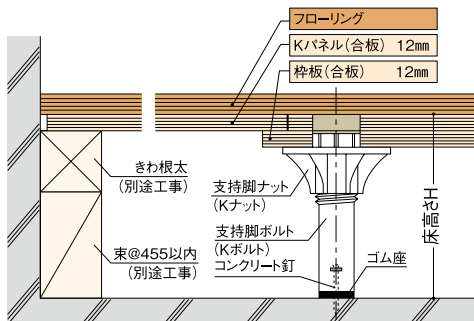


K 捨張り仕様

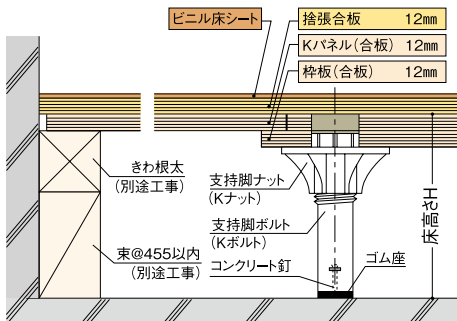
種 類	仕上げ材		捨張合板厚み
	厚み	幅	
複合フローリング	—	—	不要
無垢フローリング	—	—	不要
直張りフローリング	—	—	12mm
ビニル床シート	—	—	12mm
クッションフロア	—	—	
ビニル床タイル	—	—	
タイルカーペット	—	—	
カーペット	—	—	—
畳	—	—	不要
床暖房パネル	—	—	不要

※上記以外の仕上げ材を使用する場合には、捨張合板の厚みを別途ご相談ください。
※ビニル床シート、クッションフロア、ビニル床タイル仕上の場合、捨張合板12mmの上に5.5mmの合板を重ね張りしてください。
※施設用途以外で使用する場合には、捨張合板の厚みを別途ご相談ください。

参考納まり図 (フローリング)



(ビニル床シート)



安心の防腐・防虫・防蟻仕様タイプもご用意しています。

フリーフローアー-Gタイプ 10年保証 10年保証付き、補償金限度額300万円
K・T・TL対応 ガードパネル(防腐・防虫・防蟻処理合板)を使用。

保証の対象

新築施工物件で、フリーフローアー-KG、TG、TLGを学校教室、廊下、体育館、幼稚園等の床下地として使用されて、フリーフローアー-Gタイプに起因して明らかに次の被害を受け、所有者に損害を与えた場合。

腐 朽：白色腐朽菌による被害
虫 害：ヒラタキイシムシによる被害
シロアリ：イエシロアリ、ヤマトシロアリによる被害

注意 きわ根太及び束は必ず加圧注入の防腐、防蟻木材または弊社で発売している防腐、防虫、防蟻の根太(束も含む)をご使用ください。これ以外の根太や束を使用された場合、保証できませんのでご注意ください。

フリースポア-T

JIS A 6519 認定品
(体育館用鋼製床下地構成材)

優れた安全設計でスポーツフロアに最適です。
捨張り合板不要(フローリング仕上げ時)

床高調整範囲

パネル台板天端までの高さ

160~624mm



安心の防腐・防虫・防蟻仕様タイプもご用意しています。
保証内容などの詳細は別途お問い合わせください。

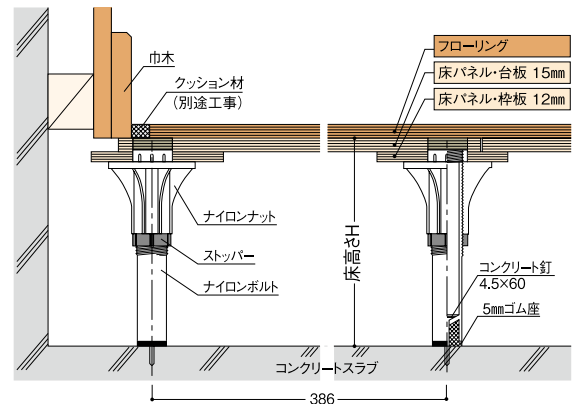
■体育館用鋼製床下地構成材品質試験(JIS A 6519)

フリースポア-T: 試験体・1 (スラブ面より台板までの高さH=585mm)

試験項目		測 定 値					JIS規格値
		載荷中央 A	支持脚近傍 B	支持脚間中央 C	床パネル端部 D	床パネル端部 D'	
鉛直載荷試験	最大たわみ量 (mm)	10.2	7.3	9.0	7.7	6.9	14.7kN/m載荷時、各点の最大たわみ量は20mm以下
	最大残留たわみ量 (mm)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	各点の最大残留たわみ量は1.5mm以下
繰返し衝撃試験		使用上有害な破壊、緩み、外れはなかった					使用上有害な破壊、緩み、外れのないこと
床の弾力性試験	弾力性値	0.695	0.187	0.614	0.297	0.117	最高値が1.378~0.0 最低値が1.378~0.2
	緩衝効果値	26	18	24	20	17	緩衝効果値は15~40
	振動の減衰時間 (秒)	0.20	0.09	0.19	0.11	0.10	振動の減衰時間は0.45秒以下
床のかたさ試験 G		—	67	—	—	—	B点で100G以下

試験日:平成23年3月24日 試験機関:旧(財)建材試験センター

■参考納まり図(フローリング)



※ストッパーは必ずストッパー締め器具を使用してしっかりと締め付けてください。

フリースポア-TL

注) TLは床高さがJIS対象外のため、JIS認定品ではございません。

床高調整範囲

パネル台板天端までの高さ

55~211mm

最低床高55mmの低床タイプ。
捨張り合板不要(フローリング仕上げ時)



安心の防腐・防虫・防蟻仕様タイプもご用意しています。
保証内容などの詳細は別途お問い合わせください。

適度なかたさ・「安全弾性設計」。

床のかたさを示す緩衝効果値は、JISの許容範囲では15~40ですが、20~30のとき安全性が最も高いことが実証されています。また、弾力性値のJIS規格値は最高値0.0以上、最低値が0.2以上であることを示しています。

測定点	A(パネル接合部)	B(支持脚上)	C(支持脚間)	D(パネル接合部)
緩衝効果値	24.793	26.244	27.508	24.825
弾力性値	0.4725	-0.0521	0.6119	0.2169

※試験日:昭和63年3月16日 / 試験機関:東京工業大学工学部建築学科・小野英哲教授研究室

※A~Dは4点の測定箇所を示します。

転倒衝突時のかたさ。

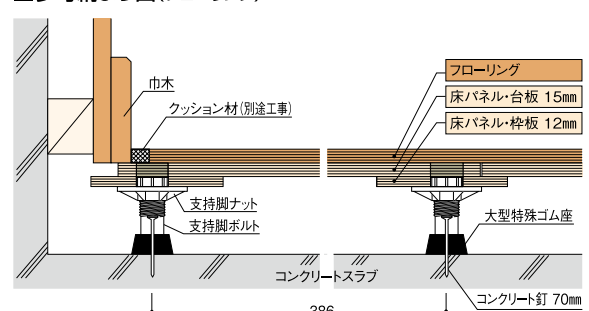
衝突時の衝撃を緩衝して傷害の程度を小さくする性能「転倒衝突時のかたさ」と、運動動作時の床のかたさ「緩衝効果値」とのバランスにより、JIS規格値(JIS A 6519)では最大加速度(G)は100G以下であることを示しています。

測定点	A(パネル接合部)	B(支持脚上)	C(支持脚間)	D(パネル接合部)
最大加速度(G)	57.72	67.55	56.99	62.82

※試験日:昭和63年3月16日 / 試験機関:東京工業大学工学部建築学科・小野英哲教授研究室

※A~Dは4点の測定箇所を示します。

■参考納まり図(フローリング)



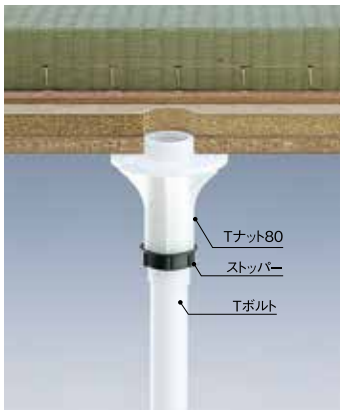
7/1-707-TR / TK / TRK

JIS A 6519 認定品
(体育館用鋼製床下地構材材)

初心者から熟達者まで、柔剣道場に求められる
緩衝効果の最適値をカバー。



7/1-707-“TR”



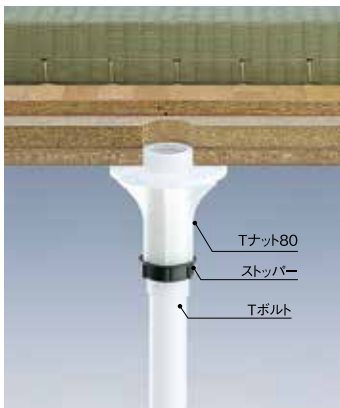
※ストッパーは必ずストッパー締め治具を使用してしっかりと締め付けてください。

7/1-707-“TK”



※ストッパーは必ずストッパー締め治具を使用してしっかりと締め付けてください。

7/1-707-“TRK”



※ストッパーは必ずストッパー締め治具を使用してしっかりと締め付けてください。

■TR性能表

試験項目		測定値		JIS規格値
		載荷中央 A	支持脚近傍 B	
鉛直 載荷 試験	最大載荷時の状況	異常なし		14.7kN/m ² 載荷時において床に 耐力上異常のないこと
	最大残留たわみ量 mm	0.4	0.2	最大残留たわみ量は、1.5以下
繰返し衝撃試験		異常なし		使用上有害な破損、緩み、外れのないこと
床の緩衝性試験 緩衝性値(UJ) N-cm[kgf-cm]	H1	577~585	574~587	変形エネルギーN-cm[kgf-cm] 熟達者3923~7355[400~750] 初心者5639~7355[575~750]
	H2	595~606	604~615	
	H3	627~639	632~641	
床のかたさ試験(Gs) G		—		B点で65以下

※H1・H2・H3:柔道量のかたさ順位(柔~剛)

■TK性能表

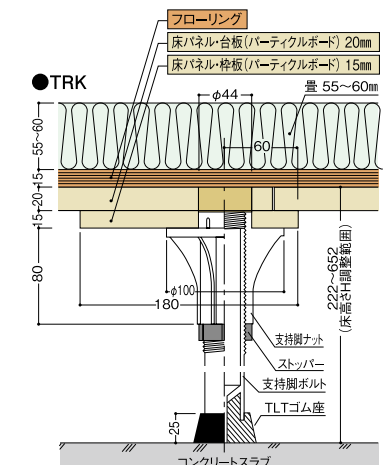
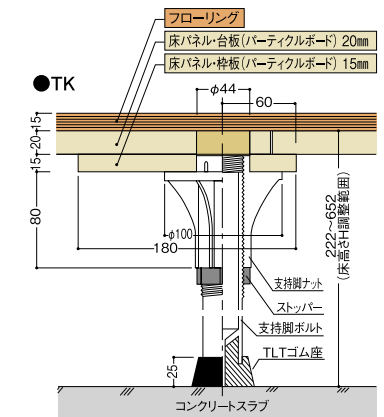
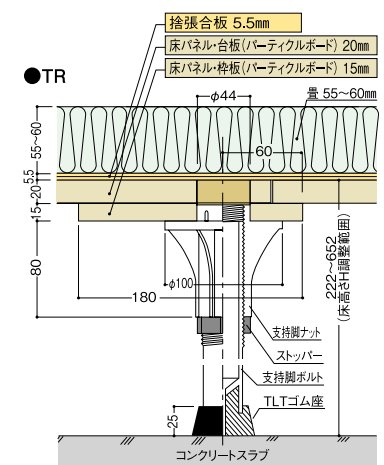
試験項目		測定値				JIS規格値
		載荷中央 A	支持脚近傍 B	支持脚の間 C	パネルの目地部 D	
鉛直 載荷 試験	最大たわみ量 mm	10.0	8.0	8.5	9.5	各点の最大たわみ量は、20以下
	最大残留たわみ量 mm	0.6	0.5	0.5	0.6	最大残留たわみ量は、1.5以下
繰返し衝撃試験		使用上有害な破損、緩み、外れは生じなかった				使用上有害な破損、緩み、外れのないこと
床の 弾力性 試験	弾力性値(Y)	0.037	0.042	0.077	0.084	弾力性(Y)は最高値が1.378~0.000以上 最低値が1.378~0.200以上
	緩衝効果値(U)	20.3	22.0	21.1	23.4	
	振動の減衰時間(Tv0)秒	0.14	0.13	0.15	0.14	
床のかたさ試験(Gs) G		—	58	—	—	B点で100以下

■TRK性能表

試験項目		測定値				JIS規格値
		載荷中央 A	支持脚近傍 B	支持脚の間 C	パネルの目地部 D	
鉛直 載荷 試験	最大たわみ量 mm	12.9	11.0	10.8	12.3	各点の最大たわみ量は、20以下
	最大残留たわみ量 mm	0.4	0.2	0.2	0.3	最大残留たわみ量は、1.5以下
繰返し衝撃試験		使用上有害な破損、緩み、外れは生じなかった				使用上有害な破損、緩み、外れのないこと
床の 弾力性 試験	弾力性値(Y)	0.136	0.068	0.138	0.234	弾力性(Y)は最高値が1.378~0.000以上 最低値が1.378~0.200以上
	緩衝効果値(U)	21.5	23.8	24.5	22.6	
	振動の減衰時間(Tv0)秒	0.16	0.13	0.17	0.16	
床の緩衝性試験 緩衝性値(UJ) N-cm[kgf-cm]	H1	4462 (455)	4590 (468)	—	—	変形エネルギーN-cm[kgf-cm] 熟達者3923~7355[400~750] 初心者5639~7355[575~750]
	H2	5531 (564)	5266 (537)	—	—	
	H3	5649 (576)	5423 (553)	—	—	
床のかたさ試験(Gs) G		剣道 —	58	—	—	B点で100以下
		柔道 —	43	—	—	B点で65以下

※H1・H2・H3:柔道量のかたさ順位(柔~剛)

■参考納まり図



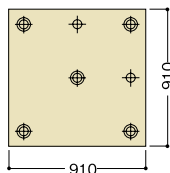
フーフロアー エアロビクスシステム

快適性、安全性、遮音性に優れたエアロビクス専用床。

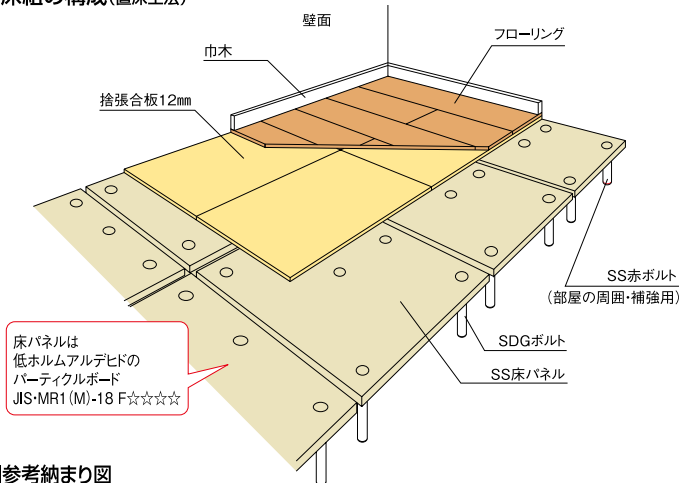


■基本床パネル

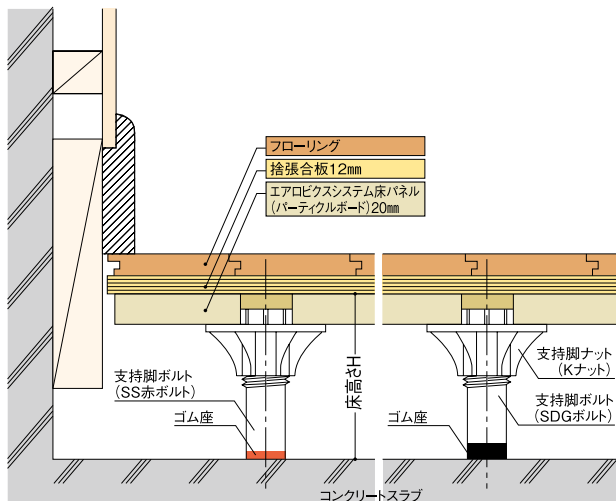
●SS-910



■床組の構成(畳床工法)



■参考納まり図



床高調整範囲

床パネル天端までの高さ

50～405mm

遮音性能 (スラブ厚150mm)

LL-40

LH-50

Kナット 15mm



Kナット 50mm



エアロビクスシステム 捨張り仕様

仕上材		捨張合板厚さ
種 類	厚 さ	
フローリング	15mm以上	12mm
ビニル床シート	－	12mm

※上記以外の仕上材を使用する場合は、捨張り仕様について別途ご相談ください。

※捨張に針葉樹合板は使用しないでください。

※ビニル床シート仕上げの場合、12mm捨張合板の目地が表面に浮き出る恐れがあります。12mm捨張合板の上に5.5mm合板を重ね張りすることで目地の浮き出しを軽減することができます。

床の硬さ(緩衝効果値)

$$U_F - 1.1 \cdot D_R \times D_R \cdot T_R^{-1}$$

$$19.01$$

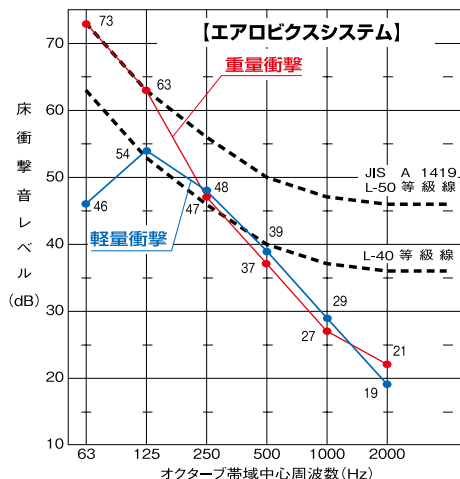
エアロビクスのしやすさ、疲労のしにくさ、傷害の起こりにくさの観点からみて床の硬さ(緩衝効果値)の最適値は20前後です。

■遮音性能(床衝撃音レベル推定値)

フーフロアー エアロビクスシステム(スラブ厚150mm)
旧(財)建材試験センター 受付第10A2357号

軽 LL-40

重 LH-50



※遮音性能は特定条件下での推定値であり、保証値ではありません。

マルチポスト

屋外でも使用可能なオール樹脂製の点支持タイプ。



床高調整範囲

マルチポスト天端までの高さ

15~725mm



別売部材

●かさあげキャップ20 NEW

本体の上にかぶせて、高さを最大40mm (2個使用)まで嵩上げすることができます。



●ジョイント40 ★

支持脚の高さを嵩上げできるジョイントです。4A型~8A型に使用できます。5A型~8A型の最低高さにご注意ください。



●傾斜プレート

1枚で1/50の傾斜に対応するプレートで、2枚まで重ねて使用できます。



●セパレートキャップ

パネルデッキ施工時にご使用ください。台板高さは6mm高くなります。



●S型用スペーサー

S型の高さが足りない時結合して1個で5mm嵩上げ可能です。最大3個まで重ねて使用できます。



別売部材対応表

★は 限定在庫品 です。

呼 称	かさあげキャップ20	ジョイント40 ★	傾斜プレート	セパレートキャップ	S型用スペーサー
マルチポスト	S型	—	●	—	●
	0A型~3A型	●	●	●	—
	4A型~8A型	●	●	●	—
	305型~715型	●	●	●	—
マルチポストBC型	—	—	●	—	—

●かさあげキャップ20調整範囲 NEW

品 名	本体	高さ調整範囲	
		かさあげキャップ20 1個使用時	かさあげキャップ20 2個使用時
マルチポスト	0A型	31~40mm	51~60mm
	1A型	36~50mm	56~70mm
	2A型	46~63mm	66~83mm
	3A型	59~83mm	79~103mm
	4A型	74~102mm	94~122mm
	5A型	97~146mm	117~166mm
	6A型	124~175mm	144~195mm
	7A型	147~215mm	167~235mm
	8A型	194~275mm	214~295mm
	305型	223~310mm	243~330mm
	445型	295~450mm	315~470mm
	575型	420~585mm	440~605mm
	715型	433~725mm	453~745mm

●ジョイント40調整範囲 ★

品 名	調整範囲 (mm)	1個使用時の 調整範囲 (mm)	2個使用時の 調整範囲 (mm)
マルチポスト	4A型	74~102	114~142
	5A型	97~146	158~186
	6A型	124~175	187~215
	7A型	147~215	237~255
	8A型	194~275	297~315

●S型用スペーサー調整範囲

S型スペーサーのみ 使用時の高さ寸法(mm)		マルチポストS型と 併用した時の調整範囲(mm)	
1個使用時	8	1個使用時	20~25
2個使用時	13	2個使用時	25~30
3個使用時	18	3個使用時	30~35

●マルチポスト専用接着剤



SDS

商品名アルデヒド系接着剤
F★★★★

種 類	規 格	接着可能本数
フクビ スーパーUダインN (一液型ウレタン樹脂系)	1.5kg	約23本
	3kg	約46本
	5kg	約77本

※マルチポスト1個当たりの塗布量は60~70gです。使用温度は5℃以上でご使用ください。それ以下になりますと硬化が遅くなりますので充分養生して硬化を確認してください。

独自の技術で未来をひらく



●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。

価格に消費税は含まれていません。

●お問合せ



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471

宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(03)5742-6301

西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832

北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315

岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)822-2301

福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1943-2112

<https://www.fukuvi.co.jp>

KC611

2019.8 ①

